

第9回 全国ユース環境活動発表大会

受賞校のみなさん、おめでとうございます！

高校生が選ぶ特別賞

玉川学園高等部 玉川学園サンゴ研究部

私たちの手でサンゴを海へ！～玉川学園サンゴ研究部の活動～

サンゴ研究部では、「サンゴの移植活動」や「研究活動」、「活動の広報」などを行っています。また、現地の学生との共同研究も実施しています。沖縄県伊江島町のサンゴを学校で育成し、現地の海に移植しています。生態や環境問題についての研究も行っています。今後もサンゴを守るため、様々な活動を継続して実施します！



先生が選ぶ特別賞

熊本県立南稜高等学校 総合農業科環境コース林業専攻

復興！『がんばろう！人吉・球磨』～地域資源を活用した木育活動で甦る、元気と笑顔と活性化の輪～

大好きな故郷の元気と笑顔と豊かな自然環境を取り戻すため、林業の専門性を活かした『木育』と『災害に強い森づくり』に取り組んできました。避難所や仮設住宅から始めた木材を活用した本活動は、延べ10,000人を超える参加者の笑顔を生み出しています。これからも支援への恩返しのご気持ちを込めて活動を継続していきます。「がんばろう！人吉・球磨」を合言葉に。



協賛企業特別賞

福井県立福井商業高等学校 JRC部とその仲間たち

海岸清掃とごみ調査に嫌気がして脱プラ・水の活動始めました

冬の三国サンセットビーチ清掃は、うんざりするほどごみがあります。毎回「海はゴミ箱じゃない！」と叫んでいるうちに、ごみを減らす活動をするしかないと考えようになりました。現在は脱プラスチック、ペットボトルのエコラベル化、新聞の袋利用など、一つ一つは小さな活動ですが未来に繋がると信じて活動しています。



SDGs活動特別賞

兵庫県立農業高等学校 鹿肉ドッグフード開発プロジェクト

鹿肉と廃棄農産物の有効利用～無添加ドッグフードの商品開発～

害獣として狩猟された鹿が産業廃棄物として処理され、また本校でも農産物が規格外となって処理されています。そこで、『もったいない』をなくすためにも、これらを活用した鹿肉ドッグフードを開発しました。犬の健康だけでなく『命をつなぐ』をテーマに食品ロス削減、SDGsに貢献することができました。



プレゼンター・審査委員



プレゼンター
樋水 洋
環境省
総合環境政策統括官



審査委員長
島岡 未来子
早稲田大学
リサーチイノベーションセンター
教授



審査委員
東岡 礼治
環境省 大臣官房
総合政策課 環境教育推進室長



審査委員
小辻 智之
独立行政法人環境再生保全機構
理事長



審査委員
竹本 明生
国連大学サステイナビリティ
高等研究所
プログラムヘッド



審査委員
東 武雄
読売新聞東京本社
教育ネットワーク事務局
事務局長



審査委員
猪野 正浩
株式会社 タニタ
ブランディング推進部

講評：審査委員長 島岡未来子氏

高校生ならではの真っ直ぐな問題意識、探求心、集中力や地域に対する愛情や想いを感じ、地域全体の活性化にみなさんが非常に重要な役割を果たしていることが伝わってきました。

フィードバックを受けたり、他の高校の発表を聞いたりして、いろんなことを感じられたかと思えます。ぜひ全てのものを糧にして、これからも環境活動や持続可能な社会の創造に向けて活動を続けていただきたいと思います。